

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 62 号

2016 (平成28) 年5月21日 (土)

はし きより うらぎ
「走った距離は裏切らない」

べんきょう つい じかん うらぎ
「勉強に費やした時間も裏切らない」

てらこや ろんごじゅく しゅさい につた おきむ
寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

2004年アテネオリンピック女子マラソンで金メダルを獲得し、日本記録保持者の野口みずきさん(37才)が先月、現役を引退しました。

貧しい家庭に育った彼女は子供時代、自転車を買ってもらえず、自転車に乗る友達にひとりで走ってついていったそうです。それが後のマラソンランナー野口みずきさんを生んだ基礎になったの

かも知れません。彼女の強さの秘訣は、猛練習に裏打ちされたその練習量の豊かさと小柄な体からは想像もつかないダイナミックなスライド走法にあると言われてしています。しかし、それ故に怪我が絶えなかったのだと思います。

アテネオリンピック前の35日間の合宿での走行距離は実に2,700kmであったそうです。一日平均何と77kmにも及ぶことになり、しかも1,800mの高地での走りなのですから想像を絶するものがあります。

冒頭の「走った距離は裏切らない」は、その彼女が語った言葉です。

ところで、塾生の皆さんはゴールデンウィークをどのように過ごしましたか。家族旅行をした人もいれば、部活動に励んだ人、あるいは勉強を一生懸命頑張った人もいるでしょう。思い思いの休みを過ごしたことと思います。

人間、頭の切り替えが大切です。これからは一日も早く平常の生活に戻して、勉強に集中するようにして下さい。

先月の「論語教室だより」でお話したように、日々の勉強の量を少しずつ増やし、中身を濃くして頭の中の桶に考える力の基となる知識を蓄えていってほしいと思います。

野口みずきさんは「走った距離は裏切らない」と理屈でなく身をもって証明してくれました。

そして、この「走った距離は裏切らない」という言葉を目にした時に私の脳裏に浮かんだのが、「勉強に費やした時間も裏切らない」だったのです。

「オリンピックの金メダルがゴールじゃない。身体がこわれるまで走り続けることが人生の目標」と言った彼女のマラソンに対するストイックさが読み取れる言葉に拍手を送ります。

これからの第二の人生もマラソン同様に頑張りたいと願わずにはられません。

野口みずきさん、本当にお疲れ様でした。そして、たくさん感動をありがとう！